

令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3 年	学校	86	59	41	34	5.4	9.7	6.2
	大阪市	—	67	49	44	5.2	11.0	6.6
4月18日	全国	—	69.8	51.0	45.6	4.6	9.6	5.7

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	84	51.5	46.0	46.2	40.9	42.2	17.7	6.1	15.0	9.5	9.7
	大阪市	—	62.3	54.2	51.9	47.8	54.3	9.9	2.9	10.6	8.0	6.2
	大阪府	—	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2	10.3	3.1	11.2	9.0	6.5
2 年	学校	72	56.4	47.3	44.5	32.1	42.8	14.8	4.1	14.0	14.1	13.7
	大阪市	—	66.7	54.6	52.2	40.6	57.2	8.2	3.2	11.2	10.4	8.6
	大阪府	—	66.8	54.2	52.2	40.2	57.1	8.3	3.5	12.0	11.3	8.9
1 年	学校	72	59.8		53.9		62.1	7.5		7.3		2.8
	大阪市	—	60.6	56.0	55.4	62.2	64.1	8.7	5.2	9.1	1.9	4.3
	大阪府	—	60.8		54.7		64.1	9.6		10.3		4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	93	102.1	98.6	139.9	89.6
	大阪市	—	101.3	107.7	137.9	102.2

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	92	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07	409.02	8.01	197.02	20.40	41.32
	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	79.05	417.51	8.05	194.78	19.88	40.79
	全 国	32.00	27.81	40.77	51.84	77.86		8.13	200.72	19.28	40.88
2 年 女 子	学校	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70	306.26	8.95	166.34	12.43	47.22
	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	52.11	313.19	9.03	165.29	12.10	46.99
	全 国	24.46	25.31	47.31	47.26	50.47		9.02	175.63	12.53	49.31

令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況

平均正答率において全体的にみると全国平均を下回っているのが大きな課題である。
各教科を平均正答率で全国平均と国語は－10. 8ポイント、数学は－10ポイント、英語は－11. 6ポイントであった。特に国語では「話すこと・聞くこと」領域の平均正答率が70.5%で全国平均正答率を11. 7ポイント下回り、数学では「データの活用」領域の平均正答率が35. 5%で全国平均正答率を13. 2ポイント下回り、英語では、「読むこと」領域の平均正答率が37. 4%で全国平均正答率を13. 8ポイント下回っている。各分野で、10ポイント以上の差がついているの改善していくのが今後の課題である。

【今後に向けて】

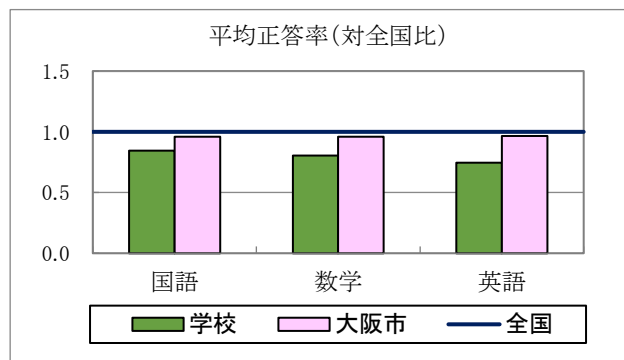
授業規律を確保しつつ生徒の学力向上に向けて、国語においては、自分の意見を書く問題などの無回答率が高かった分を改善し、漢字などの基礎学力の定着を図っていく。
数学に関して「数と式の領域」では、平均正答率が52. 2%であるので、基礎基本の部分をしっかり取り組んでいく。
英語に関しては、書くことに関しての領域の平均正答率が11. 5%で全領域で最も低くなっているので、単語の学習などで、書く力をつけていく取組を進めていきたい。

令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

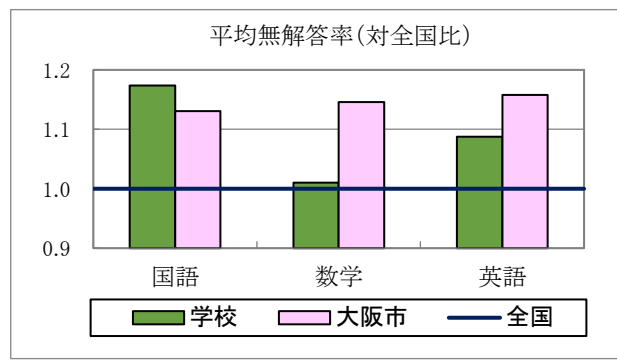
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	59	41	34
大阪市	67	49	44
全国	69.8	51.0	45.6

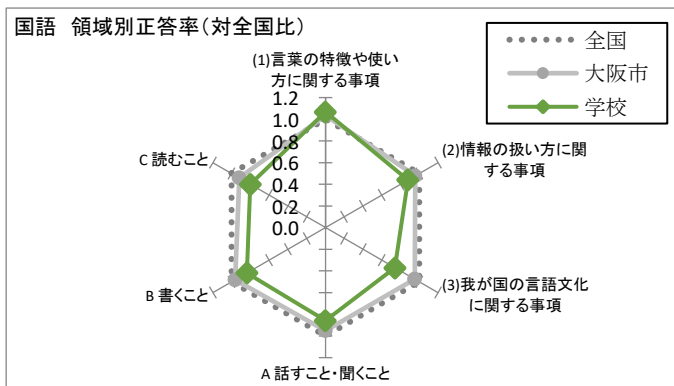
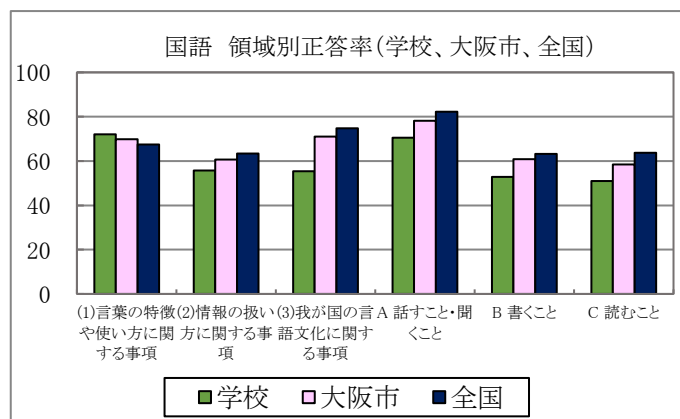


平均無解答率(%)		
国語	数学	英語
5.4	9.7	6.2
5.2	11.0	6.6
4.6	9.6	5.7



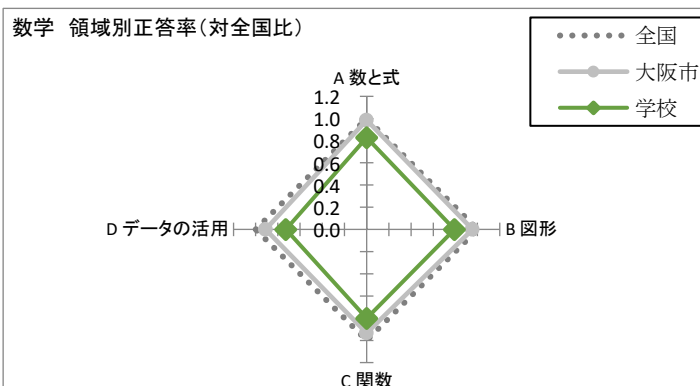
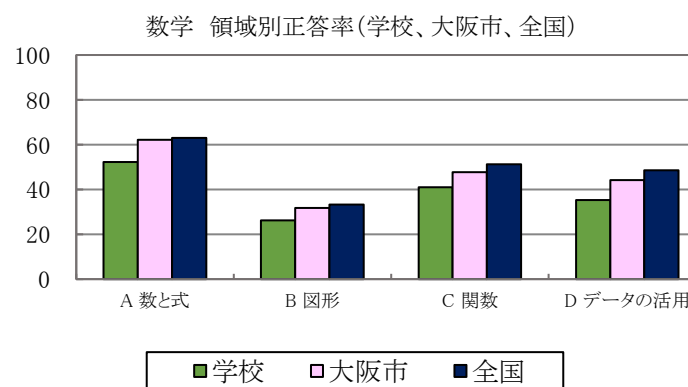
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	72.1	69.8	67.5
(2)情報の扱い方に関 する事項	2	55.8	60.7	63.4
(3)我が国の言語文化 に関する事項	3	55.4	71.1	74.7
A 話すこと・聞くこと	3	70.5	78.2	82.2
B 書くこと	2	52.9	60.8	63.2
C 読むこと	4	50.9	58.5	63.7



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	52.2	62.1	63.0
B 図形	3	26.3	31.7	33.2
C 関数	4	41.0	47.8	51.2
D データの活用	3	35.3	44.2	48.5



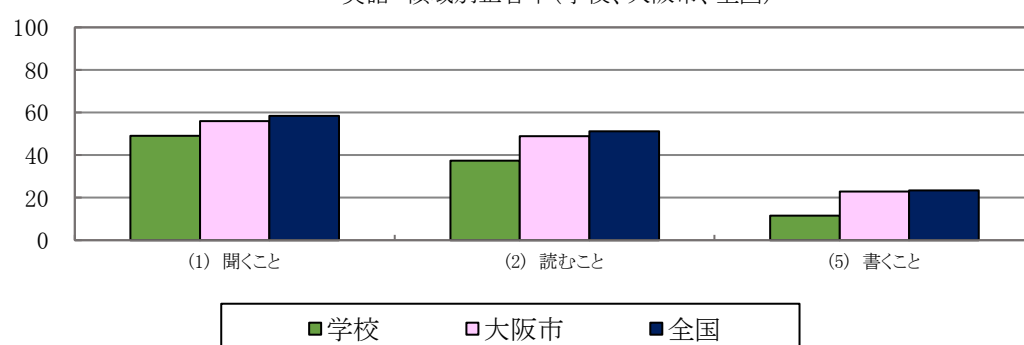
令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

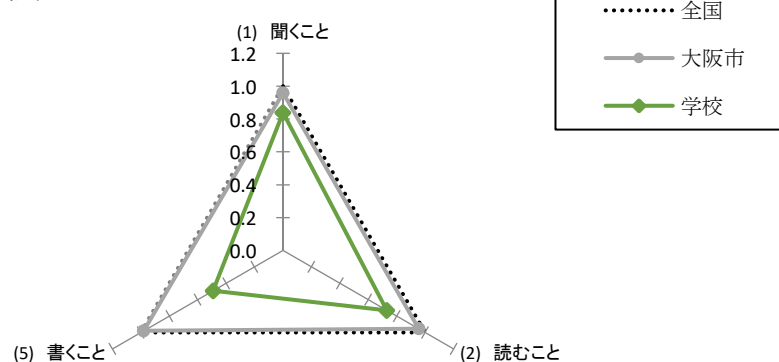
【英 語】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1) 聞くこと	6	49.0	56.0	58.4
(2) 読むこと	6	37.4	48.9	51.2
(3) 話すこと[やり取り]	0			
(4) 話すこと[発表]	0			
(5) 書くこと	5	11.5	22.9	23.4

英語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



英語 領域別正答率(対全国比)

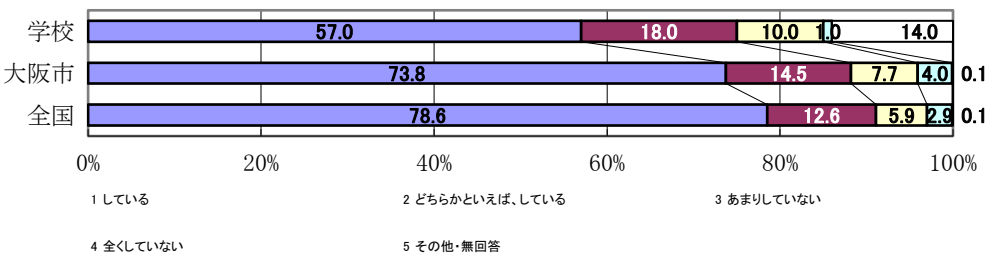


令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

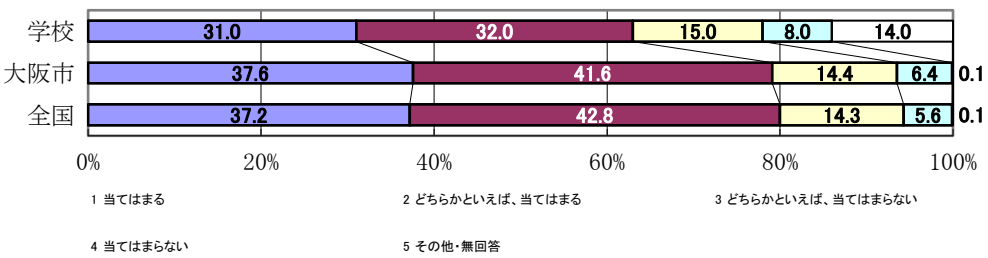
生徒質問紙より



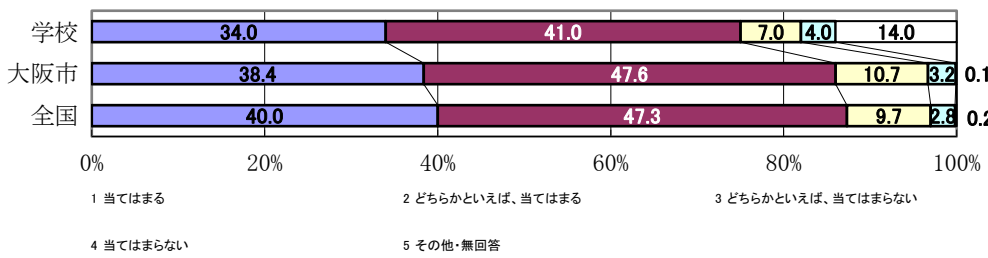
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べている



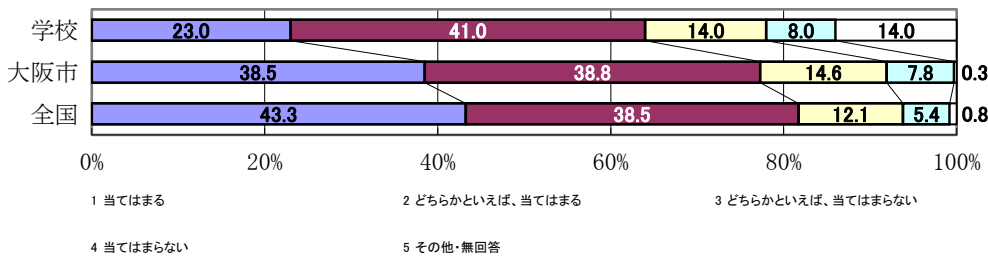
4
自分には、よいところがあると思う



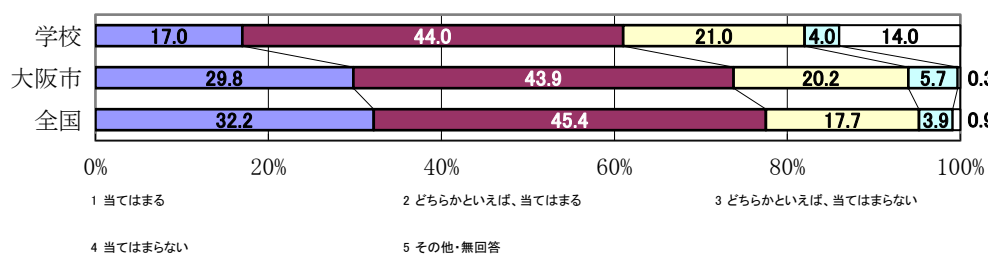
5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



12
学校に行くのは楽しいと思う



13
自分と違う意見について考えるのは楽しい



令和5年度 大阪市立天下茶屋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

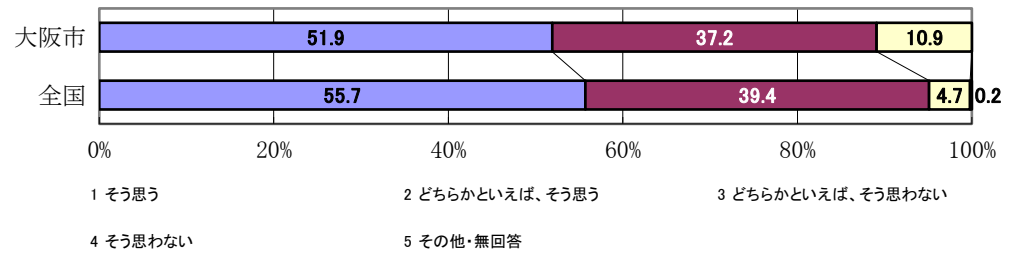
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

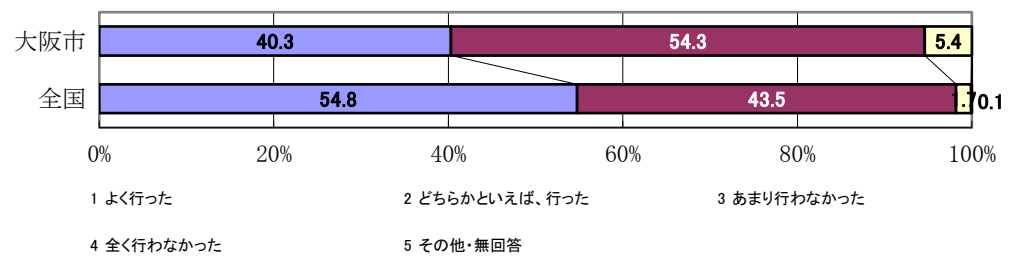
学校 「そう思う」を選択



13

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った

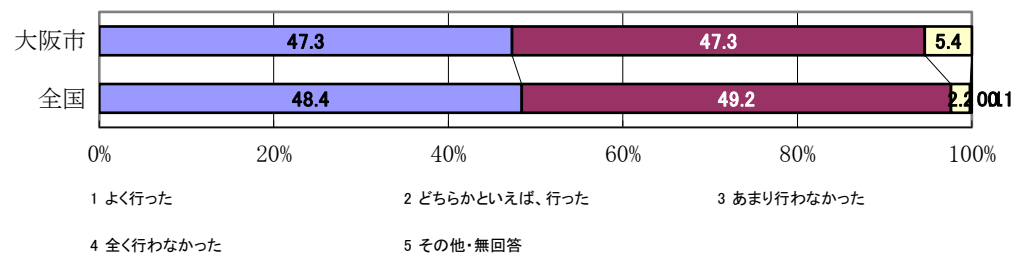
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



48

調査対象である第3学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していた

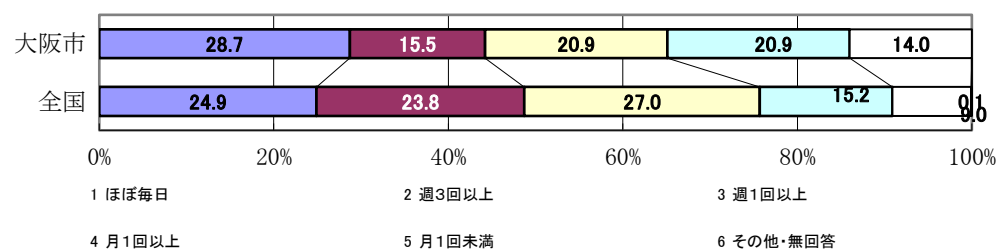
学校 「よく行った」を選択



66

調査対象である第3学年の生徒に対して、教職員と生徒がやりとりする場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回未満」を選択



71

あなたの学校では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択

